



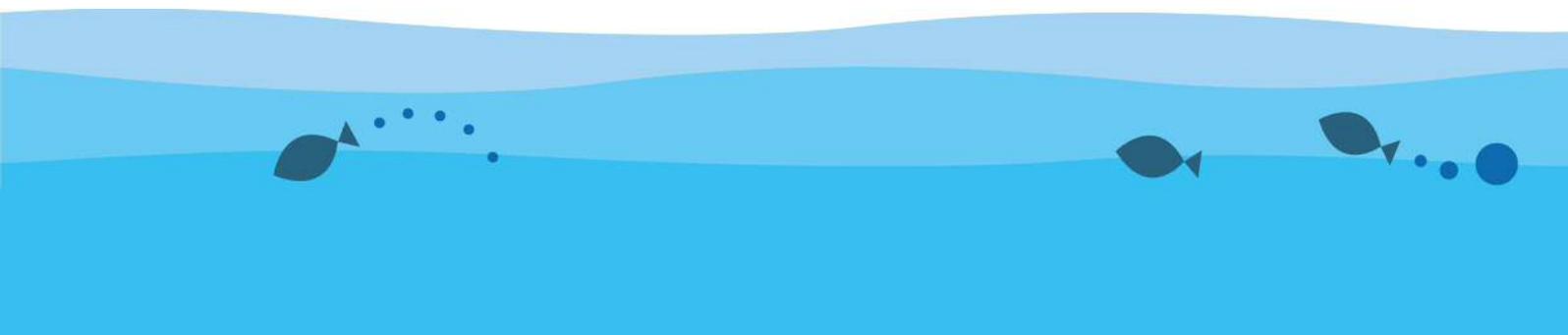
多摩川 は 今

川崎市多摩川プラン事業実施報告書 2009-2010

2011(平成23)年3月
川崎市多摩川プラン推進会議



KAWASAKI CITY





ごあいさつ

川崎市では、多摩川を「母なる川」として市民共有の財産と位置づけ、より身近な魅力ある空間とするため、2007（平成19）年3月に「川崎市多摩川プラン」を策定しました。

川崎市多摩川プランは「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」を基本理念に掲げ、「理解」・「整備」・「保全・活用」の3つの基本的視点から多摩川のあるべき姿を描いています。

2009（平成21）年度から2010（平成22）年度にかけては、プランに定められた「重点エリア」である多摩川緑地丸子橋地区（中原区）の整備や、リーディングプロジェクトとして位置づけられた施策を中心に取り組んできました。

本書により市の取組を知っていただくとともに、多摩川へ足を運んでいただくきっかけとなれば幸いです。

2011（平成23）年3月
川崎市多摩川プラン推進会議

川崎市多摩川プランの計画体系

基本理念

「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」

多摩川プランでは、「川崎の母なる川・多摩川」の魅力を流域を含めた一人ひとりの市民が共有し、豊かな自然環境と多様な生命が共存しうる新しいライフスタイルを創造することを目指します。

また、総合行政の展開・推進を図るとともに、多摩川についてのさまざまな情報発信を行いながら、過去の多摩川の記憶を前提として、多摩川の未来を語りながら、多摩川の課題とあるべき姿、目指すべき方向性を共通のものとし、それぞれの主体がともに役割と責任を担い、市民、企業、行政が協働しながら、より魅力的で豊かな多摩川を持続的に育ていけるしくみづくりを目指します。

基本的視点

多摩川を『理解』する

- 多摩川の「これまで」の歴史を振り返る
- 多摩川の風景・ランドスケープデザインを考える

多摩川を『整備』する

- 市民に身近な集いの場として多摩川のさらなる利用を促進する
- 運動施設としての多摩川緑地を充実する

多摩川を『保全・活用』する

- 子どもたちの環境学習のフィールドとしての水辺を活用する
- 多摩川の持つ豊かな自然環境資源を活かす
- 多摩川流域での連携により多摩川を保全する

もくじ

ごあいさつ

多摩川を理解する・・・3 p

1. 多摩川の歴史を彩る風景「渡し」
2. 多摩川流域セミナー
3. 景観形成ガイドライン
4. ニヶ領用水竣工400年事業

多摩川を整備する・・・5 p

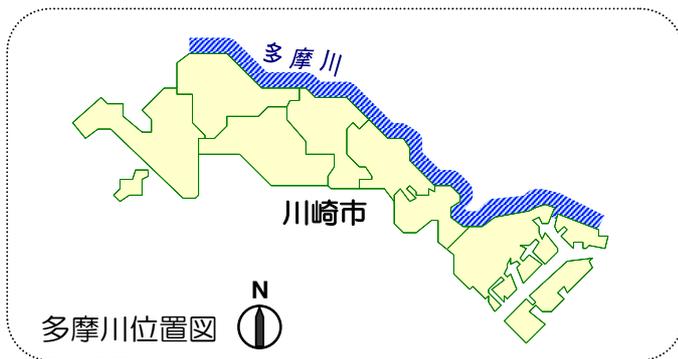
5. 緑地の再整備
6. マラソンコース改修
7. 多摩川を身近に
8. 施設の更新
9. より快適なトイレを目指して
10. 緑地の維持管理
11. 花のある川づくり
12. バーベキュー利用社会実験／適正利用計画策定

多摩川を保全・活用する・・・9 p

13. 協働型事業
14. 水辺の楽校3校目オープン
15. 夏休み多摩川教室
16. スポーツイベントの実施
17. かわさき多摩川博
18. アユ生態調査
19. 「多摩川にいこう！」

参考資料・・・17 p

- ・ 川崎市多摩川プラン 推進状況のまとめ
- ・ リーディングプロジェクト 推進内容の見直し





＝渡し復活体験の様子＝



昔を思い浮かべながら



子どもたちも体験しました

1. 多摩川の歴史を彩る風景「渡し」

多摩川では45箇所 of 渡し場跡が確認されており、川崎市域には20箇所 of 渡し場があったと伝えられ、文献などにより18箇所については位置が確認されています。

「渡し場」が担ってきた流域の歴史文化を後世に伝えるため、「ふるさと遺産・資産事業」としてイベントや碑の設置を行っています。

◆渡し復活体験

開催日：

- 2009(平成21)年7月18日(土) 参加者数60人
- 9月19日(土) 参加者数90人
- 11月15日(土) 参加者数20人
- 2010(平成22)年9月18日(土) 参加者数90人
(中原区上丸子小学校6年生)
- 10月12日(火) 参加者数37人
(中原区宮内中学校1～3年生)
- 11月2日(火) 参加者数116人
(中原区西丸子小学校6年生)

場 所：丸子橋周辺多摩川【中原区】

◆渡し場跡の碑

川崎市では渡し場跡の位置が確認されている18箇所について、順次碑の設置を進めてきました。

2009(平成21)年度は下菅・中野島・二子の3箇所に碑を設置し、これまでに計14箇所の設置が完了しました。残る4箇所は、既存の碑があったり、堤防工事の関係上設置が難しい場所であり、現段階で整備可能な箇所については設置を終えました。

多摩川の渡し場

多摩川に橋が架かる以前には、多摩川を横断する手段として「渡船」が各地で行われ、物資や人を対岸に渡したり耕作のために使用するなど、「渡船」は流域の人々の生活に密着していました。

しかし、明治以降多摩川に橋が架けられるようになってきたことにより「渡船(渡し場)」は廃止され、その痕跡を確認することは年々難しくなっています。

詳しくはニヶ領せせらぎ館へ

電話&fax：044-900-8386



◎ 2009年度設置
 ○ 未設置
 ● 設置済



下菅の渡し【多摩区菅稲田堤2丁目】

2. 多摩川流域セミナー

多摩川流域セミナーは、多摩川流域自治体と河川管理者である国土交通省、そして市民団体、企業や学識経験者などで構成されている多摩川流域懇談会が主催し、流域の理想像「いい川」「やさしいまち」の実現に向けて、年2～3回開催しています。

「多摩川水系河川整備計画」が策定されてから10年目となる2010（平成22）年は、これまでの活動を振り返りつつ、今後のよりよい川づくりに向け「多摩川の川づくり総点検！」と題し、治水・利水・環境の3つのテーマで、各スポットを巡り、参加者との意見交換を行うセミナーを開催しました。

◆2009（平成21）年度開催

第31回 「多摩川につながる野川を歩こう」

開催日：6月20日（土）

参加者：60人

第32回 「見てみよう！歩いてみよう！⑧空間※」

開催日：10月3日（土）

参加者：60人

第33回 「育てよう 多摩川でつながる市民の輪」

開催日：12月5日（土）

参加者：100人

※⑧空間とは-----
多摩川は、利用や保全などの目的によって8つの空間にわけられており、その第8番目の空間が「生態系保持空間」、通称⑧（まるはち）空間です。学識経験者など専門家による生態学的な観点から、特に貴重で保全する必要があると認められた空間で、原則手をつけず、研究目的以外の立ち入りは行わない地区とされています。



多摩川の支川にも注目しました



視察後のディスカッション

◆2010（平成22）年度開催

第34回 「多摩川の川づくり総点検！第一弾」

テーマ：「治水」～多摩川の堤防 今・昔

開催日：6月19日（土）

参加者：50人

第35回 「多摩川の川づくり総点検！第二弾」

テーマ：「利水」～水流のふ・し・ぎ 日野の湧水に学ぶ～

開催日：10月2日（土）

参加者：60人

第36回 「多摩川の川づくり総点検！第三弾」

テーマ：「環境」～河原が林になった！？

多摩川の自然の姿とは～

開催日：11月14日（日）

参加者：50人



湧水や河原の変化を総点検

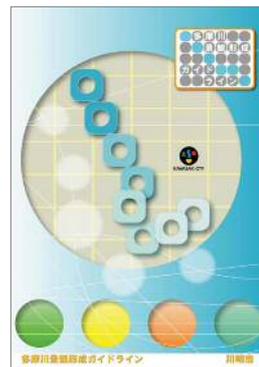


視察後のディスカッション



3. 景観形成ガイドライン

2008(平成20)年に多摩川環境形成ガイドラインを策定し、多摩川沿川の景観デザイン誘導等を行っています。(殿町3丁目地区など)
また、河川敷内の施設(トイレや看板)も、ガイドラインに沿った色彩としています。



多摩川景観形成ガイドライン
表紙

4. ニヶ領用水竣工400年事業

多摩川から取水し、川崎市内を流れるニヶ領用水が2011(平成23)年3月1日に竣工400年を迎えました。これを記念し、市民が中心となって約2年間にわたり様々な活動に取り組みました。

散策マップや知絵図等のパンフレットの作成、また、散策ツアーや市内5ヶ所での一斉清掃等のイベントが行われました。2011(平成23)年2月27日には、これらの活動の集大成としてシンポジウムを開催しました。



散策マップ



ニヶ領用水知絵図



散策ツアーの様子



一斉清掃の様子

◆ニヶ領用水竣工400年記念シンポジウム

記念事業の節目として行われたシンポジウムでは、フォトコンテストの表彰や作品展、「ニヶ領水のうた」の表彰及び発表、さらに、落語や小学校の取り組みが披露され、会場を盛り上げました。



小学校の取り組み発表



「ニヶ領水のうた」の表彰



意見交換会の様子



各区での取り組みをパネル展示

5. 緑地の再整備

多摩川緑地は川崎市唯一の運動公園として位置づけられていますが、多摩川水系河川整備計画や市民ニーズを踏まえ、自然環境に配慮しながら運動施設の再配置を進め、河川敷の有効活用と利便性の向上を図っています。

現在は多摩川緑地丸子橋地区の整備を進めており、2009(平成21)年度には丸子橋第2広場・ピクニック広場の周辺の園路整備が完了し、2010(平成22)年度には丸子橋第1広場の整備が完了しました。



丸子橋第2広場、ピクニック広場

6. マラソンコースの改修

1996(平成8)年に完成したマラソンコースですが、台風等による多摩川の増水により舗装が傷んできています。そこで、2009(平成21)年度から、特に傷みの激しい箇所を中心に改修しています。

マラソンコースは緊急用河川敷道路でもあるため、管理用車両の通行と周辺環境に配慮して、主な改修方法は木質系セメント舗装を使用しています。

- ・ 2009(平成21)年→中原区上丸子天神町
- ・ 2010(平成22)年→高津区瀬田



上丸子天神町

7. 多摩川を身近に

◆サインの設置

2008(平成20)年度に策定した「川崎多摩川サイン計画」に基づいてサインを設置しています。



総合案内板【丸子橋地区】



環境案内板【菅地区】

◆駐車施設の充実

現在の多摩川は、市街地からのアクセスが不十分な地区もあることから、アクセスの向上と未利用地等の有効活用を目的に、丸子橋駐車場と宇奈根駐車場の拡張を実施しました。

丸子橋駐車場→99台増の303台
宇奈根駐車場→40台増の120台



丸子橋駐車場



宇奈根駐車場

8. 施設の更新

老朽化が進むバックネットやベンチなどの更新を進めています。

出水前の撤去を簡易にするため、従来のステンレス製からより軽いアルミ製へと素材の見直しも進めています。



ステンレス製バックネット



アルミ製バックネット



9. より快適なトイレを目指して

河川敷利用者の方々に安心して使用していただけるよう、簡易水洗トイレの整備を進めています。

2009(平成21)年度は等々力地区、下野毛地区、諏訪地区に、2010(平成22)年度は北見方地区、丸子橋地区に設置しました。



簡易水洗トイレ
(等々力地区)

10. 緑地の維持管理

多摩川河川敷は多くの生きものの生息空間ですが、川崎市内唯一の運動公園でもあります。生きものの生息空間については草を刈らずに残し、運動利用部分については安全に緑地を使っていたため定期的に草を刈るなど、メリハリをつけた維持管理を行っています。



草刈作業

2009(平成21)年度 - 2010(平成22)年度 整備位置図



1 1. 花のある川づくり

グラウンド利用者と、自主管理を協定し、花壇管理等の維持管理をお願いしています。



花壇の管理

1 2. バーベキュー利用社会実験／適正利用計画策定

高津区の二子橋周辺多摩川河川敷は毎年多くのバーベキュー利用者でにぎわっていますが、ゴミの大量発生や音響機器持込による騒音などが問題になっていました。

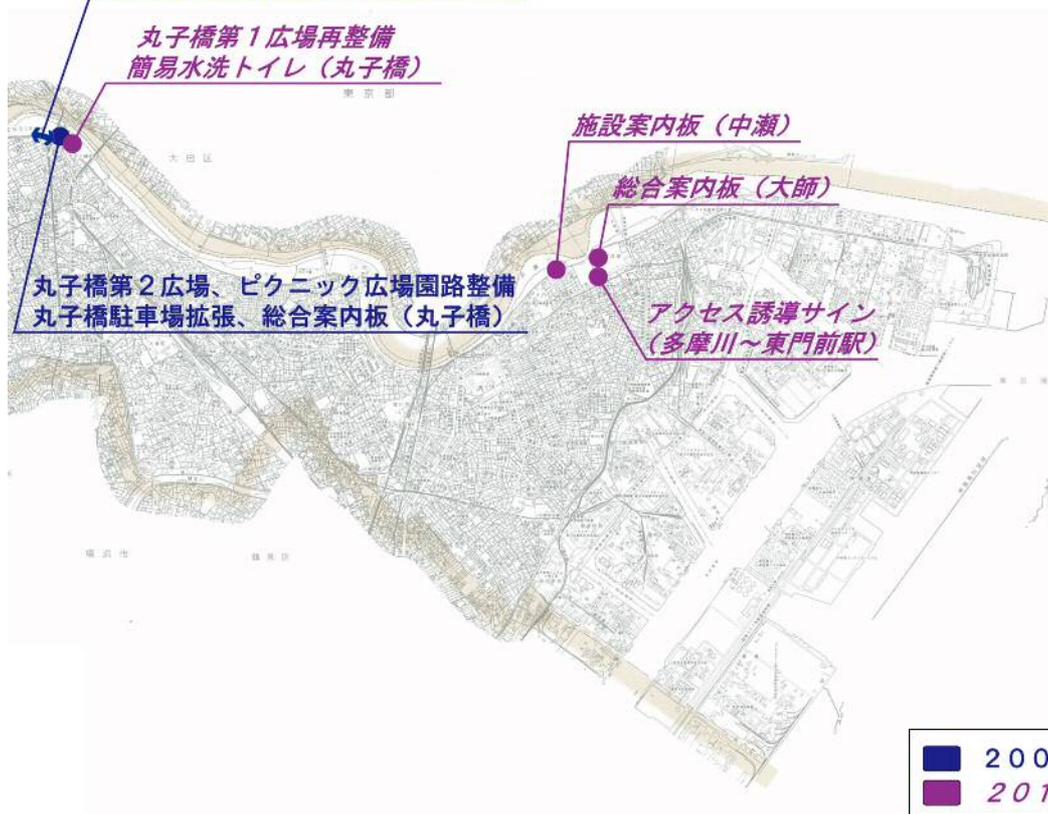
これらを解決するため、2010(平成22)年9月の1ヶ月間、利用者から一人500円を頂き、これをゴミ処理費用や運営費に充てる「バーベキュー利用の社会実験」を実施しました。



社会実験の様子

社会実験の結果を受けて、今後の多摩川でのバーベキュー利用の方針を定めた「多摩川河川敷バーベキュー適正利用計画」を策定し、2011(平成23)年4月からの「バーベキュー広場」開設に向けて準備を進めています。

マラソンコース改修(上丸子天神町)





1 3. 協働型事業

川崎市では、多摩川に関する総合的な計画である「川崎市多摩川プラン」と、多摩川を基軸として身近な「水、緑、文化、歴史」を見つめなおし、より良い地域づくりを市民・企業・行政が協働して進めていくことを目的とした「多摩川エコミュージアムプラン」を策定しています。川崎市域の多摩川には、これらを推進するために川崎市と市民団体が協働して管理運営を行っている情報発信拠点施設が2つあります。それが「ニヶ領せせらぎ館」と「大師河原干潟館」です。

◆にかりょうニヶ領せせらぎ館かん

ニヶ領せせらぎ館は、国土交通省京浜河川事務所が管理するニヶ領宿河原堰管理所の一部を多摩川の魅力を紹介する情報発信センターとして、平成11年3月に開館し、川崎市とNPO法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営を行っています。他にも環境学習など様々な市民活動が展開されています。

アクセス：JR南武線・小田急線 登戸駅下車徒歩10分

開館日：月曜日を除く毎日（月曜日が祝日の場合は翌平日）
10時から16時まで

（6月～9月までの土日祝は17時まで）※入場無料

問い合わせ先：044(900)8386



◆だいしかわらひがたかん大師河原干潟館

大師河原干潟館は、多摩川の洪水時などの防災活動や自然環境、地域の歴史・文化などについて情報発信、下流域における環境学習を行う市民活動拠点の愛称です。国土交通省京浜河川事務所が管理する大師河原河川防災ステーションの一角にある大師河原水防センターの一部を利用し、平成20年1月から川崎市と地元の市民グループで構成する運営委員会が協働して管理運営を行っています。

アクセス：京浜急行大師線 東門前駅下車徒歩7分

開館日：水曜日、土曜日、日曜日、祝日 10時から16時まで ※入場無料

問い合わせ先：044(287)7882（開館時のみ）

※閉館時は多摩川施策推進課 044(200)2268



【河川の急な増水に備えよう！】

普段は穏やかに見える多摩川ですが、上流部で大雨が降ると、たとえ遊んでいる場所が晴れていても急に増水することがあります。河川敷では常に天気気を配るとともに、情報収集も大切です。河川の水位や雨量などの情報は、国土交通省京浜河川事務所のホームページから確認できます。

パソコンからはこちら→ <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/index.htm>

ケータイはこちら → ケイヒンモバイル <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/>

※ 急な大雨や出水の情報をメールで受け取ることができる「マルチコール」というサービスもありますので、是非活用してください。（マルチコールについては上記ホームページより御確認ください。）

1 4. 水辺の楽校 3 校目オープン

「水辺の楽校」とは「水辺で楽しみながら学ぶ学校」のことで、川遊びをしたり、生きものや植物などを観察したりしながら、実体験を通じて多摩川の自然への理解とその保全について学びます。

多摩川流域では16市区町村で19の水辺の楽校が活動中もしくは準備中です。川崎市内では2校（かわさき、とどろき）が開校していますが、2010（平成22）年9月に、干潟のある河口域を活動拠点とする「だいし水辺の楽校（川崎区）」が新たに設立されました。

	延参加者数
◆「かわさき水辺の楽校（多摩区）」2001（平成13）年9月開校 宿河原地区のワンドを主なフィールドとして活動 活動例：魚つかみ、源流体験、凧揚げ など	2009（H21）：1,014人 2010（H22）：932人
◆「とどろき水辺の楽校（中原区）」2002（平成14）年4月開校 等々力地区の魚らん川を主なフィールドとして活動 活動例：野草観察、ガサガサ体験、源流体験 など	2009（H21）：1,419人 2010（H22）：1,114人
◆「だいし水辺の楽校（川崎区）」2010（平成22）年9月開校 大師河原地区の河口干潟をフィールドとして活動 活動例：開校式、干潟観察会、ハゼ釣り など	2010（H22）：155人 ※2010（H22）年度は 1月末現在の人数



凧揚げ（かわさき）



野草観察（とどろき）



ハゼ釣り（だいし）

1 5. 夏休み多摩川教室

開催日：2009（平成21）年7月28日（火）～29日（水） 延参加者数：700人
2010（平成22）年7月27日（火）～28日（水） 延参加者数：750人

会場：川崎市高津区二子地先【多摩川河川敷】

主催：多摩川流域協議会

内容：小中学生を対象に、多摩川的环境や生きものなどに興味を持ってもらい、多摩川の自然を研究するきっかけづくりやその保全について考えてもらえるよう、恒例の「夏休み多摩川教室」を開催しました。

多摩川の魚とのふれあいや水生昆虫の観察、降雨体験車による豪雨体験などの災害の体験コーナーなど、様々な催しが開かれました。



間近で見る生きものに感激！投網体験も
2009（平成21）年開催



川の危険を学んだり、魚を初めて触る子もいました！
2010（平成22）年開催